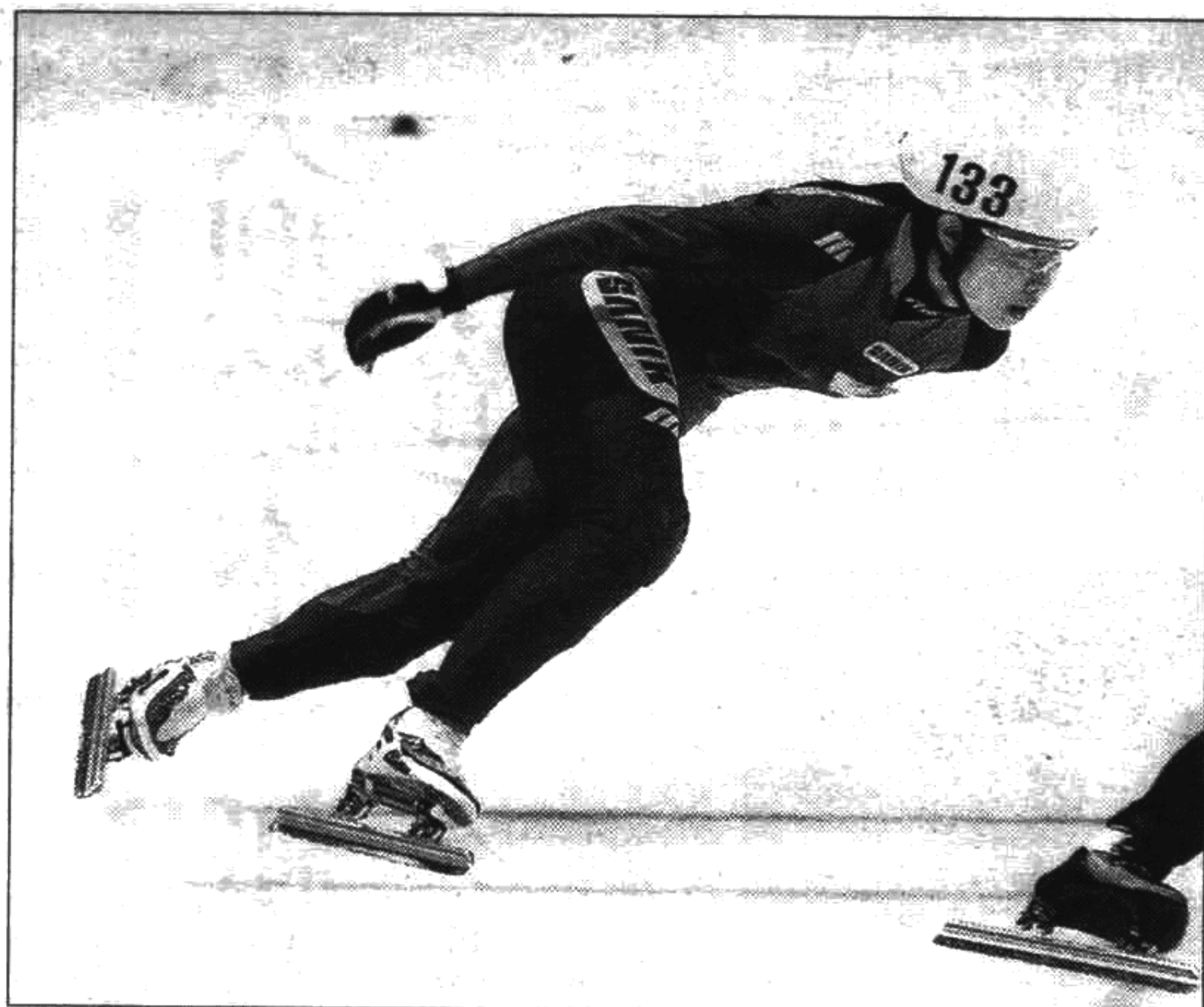


トリノをめざす古屋選手

新檜尾台発の応援サイトも



1月30日～2月3日に開かれた国体で競技中の古屋さん



来年2月開催のトリノ冬季五輪をめざし挑戦を続けているのが、新檜尾台出身のショートトラック競技選手・古屋由布子さん（24歳、SANIX所属）。この3月に、北京での世界選手権にも出場した地元の期待の星だ。彼女をバックアップしようとして、新檜尾台小ポルトボールチームの後輩や指導者らによってインターネッ

トに応援サイトも開設された。「フレイ、フレイ、こーやあ先輩」の声を受け、飛躍の年を迎えている。

古屋さんがスケートと出会ったのは小学3年の時。

子供会のポルトボール部活動のほか、浜寺水練学校で水泳を、鴨谷体育館でバスケットと器械体操の教室に入るなど、小学生の頃からスポーツ少女で鳴らした。赤坂台中入学と同時に目標をスピードスケート一本に定め、夢に向かって一歩一歩進み始めた。「ポルトのチームで自主的に朝練をしたり努力した結果、優勝した喜びが今の私を支えてくれています」と。

全国小学生大会で総合2位、中2でジュニア強化選手に選ばれるなどメキメキと頭角を現したが、泉陽高校時代から福岡大2回生にかけてスランプに陥った。

しかし「もっと速くなりた」と、現監督で福岡大OBの江口雅之氏の指導を得て練習環境が整ったことにより、再び「世界」が見えてきた。

今年の実業団3年目。3月の世界ショートで女子リレー決勝を滑り「世界のレベルをひしひしと感じ、自分がどれだけ強くないか」といけないうのはつきり分

かりました」と話す。10月のプレオリンピック大会（イタリア）12月の全日本選手権と、トリノに至る大事な大会を次々と控え、「とにかく世界で戦える実力を身につけることが目標」と、迷

いのない表情の古屋選手に大いに期待したい。応援サイトは<http://homepages3.nifty.com/kumagaiy/port/koya/index.htm> 【大西】